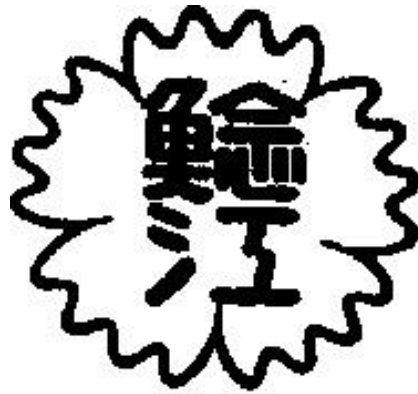


令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立鯰江小学校

令和8年4月

大阪市立鯉江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、教育目標『心豊かに たくましく生きる「鯉江っ子」を育む』のもと、教職員・保護者・地域関係者と連携し、教育活動を展開している。

「安全・安心な教育の推進」に関して、児童は本校の教育活動について、一定の肯定感を持っている。また、児童の自己肯定感は比較的高い(令和7年度全国学力学習状況調査「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対する肯定的回答の割合:84.2%)。一方で、全校で1.5割程度の児童が、学習活動になじめず、本校の教育的価値を見いだせていない(同調査「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対する否定的回答の割合:15.8%)。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」に関して、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果より、本校の平均正答率は対全国比で国語1.04、算数1.15であり、全国平均を上回っている。また、国語科においては、標準偏差が全国と比べ小さくなっており、学力差の改善傾向がみられる。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果より、「運動やスポーツへのいろいろな関わり方について興味や関心がありますか。」に対して最も肯定的に回答する児童の割合は、全国平均を下回っており(学校:60.9%/全国:63.4%)、体力合計点が男女ともに全国平均を下回っていることと関連していると考えられる。

「学びを支える教育環境の充実」に関して、1人1台学習者用端末の週3回以上活用したと肯定的に回答する児童の割合は61.8%と高からず、活用方法について、『学習者用端末ガイドブック』におけるフェーズ3レベルの充実が求められる。

教員の働き方改革に関連して、本校の教員構成は、教職経験年数10年未満が5割程度在籍し、その資質向上が喫緊の課題である。また、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間が月30時間を超過する教員も少なからず存在する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:78.7%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R7:73.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。(R11→0.12ポイント向上)
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。(R11→0.12ポイント向上)

令和7年度大阪市小学校学力経年調査各教科における平均正答率の対全国比

学年	国語	算数
第3学年(現第4学年)	0.93	0.96
第4学年(現第5学年)	1.02	1.09
第5学年(現第6学年)	0.97	0.98

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R7:77.7%)
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(R7:67.3%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:89.4%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上とする。(R7:61.8%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7:20 時間 09 分)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7:78.7%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(R7:73.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7:77.7%)
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7:67.3%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:89.4%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上とする。(R7:61.8%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7:20 時間 09 分)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立鯉江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【3つの最重要目標】</p> <p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7:78.7%) ● 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を76%以上にする。(R7:73.7%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1-1 いじめへの対応】</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いじめの実態把握のため、学期に1回いじめアンケートを実施する。 ● 認知したいじめ事案については、100%の解決を図る。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 1-6 安全教育の推進】</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セーフティー・プロモーションスクールの指標をもとにした不審者対応、火災、地震・津波災害に対する児童の避難訓練を各1回実施する。 	

取組内容③【基本的な方向 2-3 人権を尊重する教育の推進】

指標

- 学校行事と連携させた平和に関する学習を、年1回実施する。

取組内容④【基本的な方向 2-4 インクルーシブ教育の推進】

指標

- 教育活動に配慮を要する児童に関する児童理解研修を、毎月1回実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立鯉江小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】 【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。 ● 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。 ● 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7:77.7%) ● 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7:67.3%) ● 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:89.4%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教科教育研究を進め、各学年で年1回研究授業(学習指導案・研究討議会を含む)を全市もしくは校内で公開する。 ● 理科の授業において、観察・実験にかかる体験的調査活動を、単元に1回以上実施する。 	

取組内容②【基本的な方向 4-3 英語教育の強化】

指標

- 全学級で、1回 15分×週2回の「小学校低学年からの英語教育」を実施する。

取組内容③【基本的な方向 5-1 体力・運動能力向上のため取組の推進】

指標

- 体力向上に関する教員研修を年1回実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立鯉江小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上とする。(R7:61.8%) ● 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7:20時間09分) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6-1 ICT を活用した教育の推進】</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上とする。 ● 指導事例を活用した情報モラル教育を、年1回以上実施する。 <hr/>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7-1 働き方改革の推進】</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を80%以上にする。 <hr/>	

取組内容③【基本的な方向 7-2 教員の資質向上・人材の確保】

指標

- 基礎的・基本的な事項や実践的な指導技術力について研修する場としての「若手教員研修」を月2回実施する。
- 学校運営にかかる研修の場としての「中核教員研修会」を年1回実施する。

取組内容④【基本的な方向 8-3 学校図書館の活性化】

指標

- 児童が活用しやすく、読書意欲が高まる学校図書館運営に努め、週1回は司書により学校図書館を開館する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点